

2024年12月

兵庫県立川西緑台高等学校同窓会報



緑の風

vol.11

編集発行▶兵庫県立川西緑台高等学校同窓会 緑友会

発行日▶2024年12月1日

事務局▶〒666-0115 川西市向陽台1丁目8番地（兵庫県立川西緑台高等学校内）

TEL 072-793-0361 FAX 072-793-0520



緑友会公式ホームページのご案内



母校・同窓会の
今がわかる!



会員の皆様も
発信できます!



多彩な
コンテンツ!



いつでも同窓生と
つながる!

全てのコンテンツが **無料!**

- グループ ■ 会報 ■ 異動・変更届け
- 各種申込み ■ ミニメール

全ての同窓生が無料で参加し、全ての機能を使うことが可能です。

まずは会員登録してください

同窓会コミュニティサイト **Bikita** 会員限定



ここから
ID/PASSを
入力して
ください



緑友会Bikita



ログイン動画



OB会等リンク希望の方がいらっしゃいましたら、ぜひご連絡ください。ID/PASSは同封の宛名用紙に出力しております。
● 不明な場合は、Bikita内よりお問い合わせください。

お問い合わせ

TEL 0120-22-5085 FAX 0120-81-2299
E-mail: info@bikita.jp

ご挨拶



「緑の風」発刊に寄せて

緑友会会長 高瀬 伸介 (17期生)

平素は兵庫県立川西緑台高等学校同窓会「緑友会」の活動に対し、ご理解・ご支援をいただき、まことにありがとうございます。会長を務めております、17期生の高瀬です。

今回3年ぶりの会報を手にとっていただきありがとうございます。DX化が進む昨今、理事会の中でも紙媒体の会報の意義について、毎年のように議論は出ております。しかしながら同窓生の皆さまに対してデジタルでの連絡手段が100%確保できていない現在、デジタル化に舵を切るのは難しいという結論で、今回も皆さまのお手元

に届けさせていただきます。少しでも緑高生時代を思い出していただき、会報を楽しんでいただければと思います。

私事です、今年娘が緑高に入学し、初めての「むらまつり」を体験し、私も何十年かぶりに緑高の「むらまつり」を楽しむことができました。地元の方も多く来られており、今なお地域に愛される緑高であることを嬉しく思うとともに、これからの少子化時代にもしっかりと対応し、素晴らしい教育環境を子どもたちに提供して欲しいと思います。今後も皆さまのご支援を賜りたく思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



ご挨拶

校長 千葉 栄三

緑友会の皆様には、平素より国際交流事業への支援や緑の架け橋講演会の講師など、さまざまな形でご協力を賜り、誠にありがとうございます。令和4年に第20代校長として着任いたしました千葉栄三でございます。コロナ禍の後半に着任して3年が経過しようとしており、今は、生徒の学校生活も平常を取り戻し、ほとんどの

学校行事がコロナ禍前と変わらぬ形で実施できております。

コロナ禍を超えて新たな方向性を模索し始めた行事もあります。「むらまつり」は、感染症対策として衛生面に配慮して一般公開を中止にせざるを得ない時期がありました。その間模擬店に換え演劇等の舞台発表を、校内で実施していました。3年間で演劇のノウハウやイメージが定着し、発表の質も高くなってきました。教育効果の高い演劇は、それを作り上げる過程で、クラス全員で協働する場面が多いため、実施後の生徒の自己肯定感や充実感も大きく、思い出の1ページになっています。展示部門ではゲームを作成し衛生面で心配のない景品を出すことで、小学生以下の小さなお子様も楽しめるようになっており、コロナ禍後の新たな「むらまつり」を創出しています。

さて、予測不能な社会といわれて久しいですが、そのような社会で活躍できる資質・能力を育成すべく、緑高では令和7年度入学生から文理探究科を設置することとなっております。これまでの総合理数コースを発展させ、自然科学だけではなく人文科学や社会科学の視野にも

触れさせ、文理融合の視点から思考することができる生徒の育成を目指しています。これに伴いまして、探究活動に適した教室を設置することとなりました。県教委から予算をいただき実験室を改修し、文部科学省から高等学校DX加速化推進事業としてデジタル機器を整備していただきました。令和6年度中に「探究ルーム」の設置を完了し、文理探究科を始めとして緑高の「総合的な探究の時間」を充実させてくれる環境が完成する予定です。

また、緑高のモットーとする文武両道のスタイルは現在も受け継がれ、京都大学や大阪大学を始めとする国公立大学に90人弱の卒業生が合格している一方、令和5年度には陸上競技部の競歩でインターハイと国体での優勝、令和6年度には弓道部インターハイで準優勝と素晴らしい成果を収めてくれています。これらの活躍は、緑友会やPTAの皆様のご支援で正門南側に設置させていただきました掲示施設と南館西側の懸垂幕により広報しております。

地域に支えられる緑高は、多田グリーンハイツ自治会から地域課題解決への協力を依頼され、生徒会を中心に参加することになっています。地域で貢献する活動をとらえて社会で活躍する意味を感じ取り成長してくれることを期待しています。これからの社会で活躍できる後輩の育成に、私たち教職員は一致団結し、微力ながら全力で取り組んでまいります。

最後になりましたが、緑友会の皆様には、今後とも母校の教育活動にご支援ご協力を賜りますとともに、緑友会の益々の発展と皆様のご活躍を祈念いたし、ご挨拶とさせていただきます。

卒業生からのメッセージ

高校時代の思い出

9期生 市橋 春太郎

1977～1980年、私の高校在籍年。もう40年以上も前（汗）。

日本の音楽シーンはフォークソングからニューミュージックへと移行。余談ですが、先日、Amazon musicで「ニューミュージック ヒット」というのがあり、私はてっきり最近流行っている曲がかかるものと思い選択すると、久保田早紀の「異邦人」やアリスの谷村新司の歌う「冬の稲妻」等の当時の曲が鳴り出して、懐かしくて涙ものでした（笑）

映画はスターウォーズの一作目が出たのもこの頃。

また、緑台高校は無縁でしたが、中高の学校内暴力がニュースに取り沙汰されたのもこの頃でした。

私は当時清和台から自転車で通っていたので行きは、猪名川沿いの道を走り、多田大橋を渡り後は坂を登りきり、帰りは逆に緑台を下り、清和台の坂を登る毎日。自然豊かな景観で四季の移り変わりの美しい通学路風景を今でもふと思い出すことがあります。

で、私の思い出と言えば、部活関連。高一の中途までバスケット部に在籍していたのですが、訳あって退部してから、上級生に誘われて

新聞部（新聞委員会）に入部。活動の主は年二回ほどの学校新聞の発行。それほど忙しいということはないけれど、それでも、新聞の基本的なレイアウトを学びに、印刷をお願いしていた三宮の神戸新聞のOB記者に教を請いに行くなど、けっこうまじめに取り組んでいました。

新聞記事に日の丸掲揚、君が代斉唱反対の意見の先生の投稿を掲載して、校長、教頭の呼び出しを喰らい厳重注意を受けたりしたことも（国家国旗法成立の20年近く前）、今振り返るとなかなか面白い体験をしたと思います。

部室が生徒会室の隣で、かつ、生徒会の組織の位置付けで新聞委員会の側面も担っていたので、生徒会から、むらまつり（学校祭）のお手伝いに駆り出されたのも、楽しい思い出。

その頃に取り組んだことが人生で何か役立ってるかという、私の場合は甚だ疑問ですが、それでも部活と言う自分の居場所がある高校生活を過ごせたことは幸いだったと、振り返りそう思います。

昔も今も

22期生 青柳 尚

1993年2月末、私は緑高22期生として卒業を迎えた。「緑高とはこれでお別れだな」と漠然と考えていたが、あれから30有余年、結局今でも帰省の際には当時の仲間たちと集まったり先輩方とプロ野球観戦に行ったり、と長い付き合いになっている。50歳を迎えたつい先日も帰省して当時の仲間と酌み交わし、近くの公園で敦盛を舞い、涙が出るほど大笑いしてきた。

今にして思えば、蒜山での林間学舎に始まり、最後の卒業式で終わる緑高生活は、何かとイベントの多い生活だったのではないかと思う。そんな中で、私は特に目立った生徒でもなく、華やかな高校

生活を過ごせたというほどのものではなかったが、色々なイベントに参加し、地味なりに楽しく充実した時を過ごすことができたと思うし、言葉に認めてみて、改めて緑高で貴重な3年間を過ごすことができたことに感謝している。

在校生の皆さんも、今そばにいる仲間とともに、今できることに全力で取り組み、精一杯に楽しみ、素晴らしい思い出がたくさん作れることを、そして卒業してから何年・何十年か後、最高の仲間と笑顔で思い出を振り返ることができることを願っています。

人と違うっていいよなって話してた

40期生 梅村 崇

放課後の美術室で、いつものようにぐだぐだと過ごしていた。サッカー部を辞めた、ちょっとチャラい見た目の友達は、外見と裏腹に繊細で真面目な性格だった。僕も彼も、高校に入ってから文化系に転向した。スポーツ中心の生活から一転、周りとは違う行動に対して少し不安もあったけれど、自分だけの進路を選び取ったような、どこかワクワクした気持ちもあったと思う。彼は自分の考えを言語化するのが上手で、僕らは日々、様々なことを話し合うようになり、それが楽しくて、毎日が新鮮だった。勉強は苦手でテストは赤点もあったけど、美術部の他に生徒会と茶道部、写真部、野外観察同好会にも入って趣味的な活動に充実した生活を送っていた。

3度目のむらまつりが近づき、僕らは何か大きなものを作りたくなった。何度も話し合った結果、僕らの考えや高校生活を現代アート作品に表現することにした。放課後は毎日制作。前日の夜によりやく完成した時の達成感と興奮は、今でもよく覚えている。

校舎を見上げる坂道に吊られた大量の32面体と、頭上に掲げら

れた巨大な32面体。そして白一色で統一された装飾。タイトルは「Original-ISM」。説明文をこう加えた。

「『人は皆、初めは白い球で、それに人生を通してさまざまな色をつけていく。色をつけた部分が増すごとに、人としての個性、オリジナリティーが確立されていく。』こう考えた僕は、グラデーションができる32面体を用い、学校は『自分たちに色をつけていく場所』という意味を込めて白で統一し表現した。」

やり切った。そこに高校生活が詰まっていたように感じた。

卒業後、その友達とは京都で4年間ルームシェアをした。大学卒業後は、僕は公務員として霞が関で国会対応の忙しい日々を送った。今は退職して京都のお寺で茶の湯の世界に生きている。出会いと別れの中でまだまだ色をつけながら、僕らはそれぞれの道を歩んでいる。5年後、どうなっているかはわからないけれど、その未知の未来も楽しみだ。

講演会をしてみて

2023年9月「1・2年向け 先輩TALK」 49期生 恵美 温

私は今年社会人1年目の49期生です。

緑台高校は大学進学への学校側からの力添えがとても大きい高校だとおもいます。実際に大学に進学した先輩たちからの話を聞ける授業もあり、進学を考えている高校生には大学生の生の声が聞けると言うことでとても良いものだと思っていました。そんなトークイベントに去年話す側として呼んでいただきました。

当時は大学4年で、ちょうど就職活動が終わり、卒業研究に取り組んでいる時でした。これから大学に進学する高校生にどんなことを話そうとたくさん悩みました。

結局、少しでも進路を考える上で、参考にできるのではないかと、

地方一人暮らし大学生のリアルなお金事情や、研究分野、なぜその進路に決めたのかなどを話しました。私は勉強は得意ではないものの、好きなことをやりたいと言う気持ちを大事にして、大学に進み、研究も楽しく取り組むことができました。

うまく伝えられたかはわかりませんが、「進学しなきゃ」という気持ちよりも、漠然としたものでも「こういうことをしてみたい」という気持ちを持って将来の道を選べるといいなと思い、お話ししました。

これからそれぞれの道に進まれる皆さん、後悔のないよう自分のやりたいことをできる道を選んでいってください。

私の緑台高校での思い出

53期生 玉井 大翔

私はこの場をお借りして、緑台高校での思い出を紹介できると何ったとき、たくさんの思い出が次々浮かんできました。

私たち53期生は、コロナウイルスが猛威を振るう中、期待と不安を抱えながら緑台高校に入学しました。実際、私たちの高校生活にコロナウイルスは大きくかかわっており多くの行事が中止や内容の変更がありました。特に、スタディサブリによる健康チェックは多くの人を苦しめていました。しかし、コロナウイルスの脅威が落ち着いてくるとマスクの着用義務がなくなり、私は初めてみんなの素顔を見ることができました。印象が変わった人もいれば、イメージ通りの人もいて、とても新鮮だったことを覚えています。

行事や学校生活についても様々な思い出が浮かんできます。再テ

ストになった緑台体操、短かった夏休み、カレーがおいしかったネスタリゾート、一瞬だった冬休み、雨に濡れた修学旅行、準備頑張った文化祭、結局なかったマラソン大会、こける人が続出した体育大会、けが人が続出した球技大会、アトラクションで酔ったユニバーサルスタジオジャパン、遅刻しそうになった京都観光、毎回雨を願った周回走など様々なことを53期生みんなで経験してきました。

私にとって、緑台高校での3年間の思い出はとても大切なものです。大切な思い出になったのは、53期生みんなが面白く優しく、先輩や後輩、そして先生方にも恵まれたからだと思っています。私は53期生のみんなに巡り合えたことが本当に幸せです。

逢坂草太朗さん (53期) 2023 年北海道高校総体5000m 競歩大会新で優勝 (20分6秒58)



記録

(高校時代)

5000mW

2023年全国高校総体	優勝	20'06"58	大会新
2023年鹿児島国体	優勝	20'28"51	

10kmW

2024年U20日本選手権	優勝	41'21	
---------------	----	-------	--

20kmW

2024年全日本競歩能美大会	8位	1:22'26	
高校歴代2位			

(本年度)

2024年世界競歩チーム選手権	U20男子10kmW	4位	40'30
-----------------	------------	----	-------

私は昨年度、川西緑台高校を卒業しましたが、高校入学前と比べて大きく変わりました。高校入学時、やりたい部活も決まっていなかったのですが、駅伝で走りたいと思い陸上部に入部しました。そこで、それまで全く知らなかった競歩という競技に出会いました。高校時代は陸上部の仲間たちに支えられることが多く、競技は違ってもお互いに刺激を与え合い、遠くの大会にも応援に来てくれました。駅伝と一緒に走った仲間たちや、優しい緑台の先生方との出会いに感謝しています。

高校3年間を通じて学んだのは、「信じることの大切さ」です。勉強でも部活でも、大きな目標を信じ続ければ、それに伴った行動が取れるようになります。実際に早い段階から行きたい大学を決めた友達は、自分の芯を持ち、目標を達成しました。私も1年生の頃は半分不可能に感じた目標に向かって努力を重ね、3年生の時には自信を持ってその目標を達成できるまでに成長しました。

高校3年間で大切なのは、無理に頑張ることではなく、賢く努力することです。楽しみながらも、自分の芯を失わないことが特に重要で、高1や高2に意識するべきだと思います。また、挑戦することも大切

です。高校生活では、部活や役割分担など、多くの選択肢があります。その中には、高校で最後になる経験も多いので、自信を持って挑戦する価値があります。

最後に、近況について報告します。直近では、8月末のU20世界選手権に出場し、メダル獲得を目指しています。また、来年の東京世界陸上に出場することを目標にしており、進学した東洋大学の4年間で、世界陸上やオリンピックといった世界大会で活躍できる力身につけたいと考えています。



学生食堂の今



開校時から多くの緑高生のお昼を支えてくださったかまえ食堂が2021年度を持って営業終了しました。

今はマインフーズにお世話になっています。

コロナ禍での営業開始ということで、テイクアウト容器に入っているの中庭で食べる多くの生徒の姿がみられます。



体操服の変遷

かつての悪評高き「濃厚単色、パッチ」
から現在のモデルまで

緑台の体育といえば、「緑台体操」

体育で、球技大会、マラソン大会、オリエンテーション合宿、部活…。そして卒業後は家で?! 大活躍の体操服。54年でこんなにかわりました！

第1期生

(昭和47年3月卒)

第7期生

(昭和53年3月卒)

第41期生

(平成24年3月卒)

第21期生

(平成4年3月卒)

第31期生

(平成14年3月卒)

第51期生

(令和4年3月卒)

第54期生

(令和4年～)

制服の変遷

54期生からは制服も体操服もガラッと変わりました！

今、能勢電鉄でグリーンハイツで自分の着た制服を見かけることはなくなりましたが、新制服姿をみつけたらぜひ緑台懐かしいな、と思い出してください。

第1期生

(昭和47年3月卒)

第7期生

(昭和53年3月卒)

第31期生

(平成14年3月卒)

第51期生

(令和4年3月卒)

第21期生

(平成4年3月卒)

第54期生

(令和6年)

第1期生
合服

進路状況

令和5年度 卒業生 及び 過年度 卒業生 進路状況

国立大学

大学名	学部	合計	合格者数 53期生 過年度
京都大	理	2	1 1
大阪大	文	2	1 1
	工	1	1 0
	医	1	1 0
神戸大	経済	1	1 0
	工	1	1 0
	農	1	1 0
	海洋政策	1	1 0
その他国立大		43	36 7
合計		53	44 9

公立大学

大学名	学部	合計	合格者数 53期生 過年度
大阪公立大	理	2	2 0
	農	1	0 1
	現代シス	1	1 0
兵庫県立大	国際商経	2	1 1
	環境人間	5	5 0
	社会情報	2	2 0
	理	1	0 1
	工	2	2 0
	看護	1	1 0
	その他公立大	19	18 1
合計		36	32 4
国公立大学合計		89	76 13

私立大学

大学名	合計	合格者数 53期生 過年度
同志社大	19	15 4
立命館大	31	26 5
関西大	92	84 8
関西学院大	98	83 15
産近甲龍	269	233 36
その他私立大	500	473 27
合計	1,009	914 95

短期大学

	合格者数 53期生 過年度
合計	8 0

専門学校

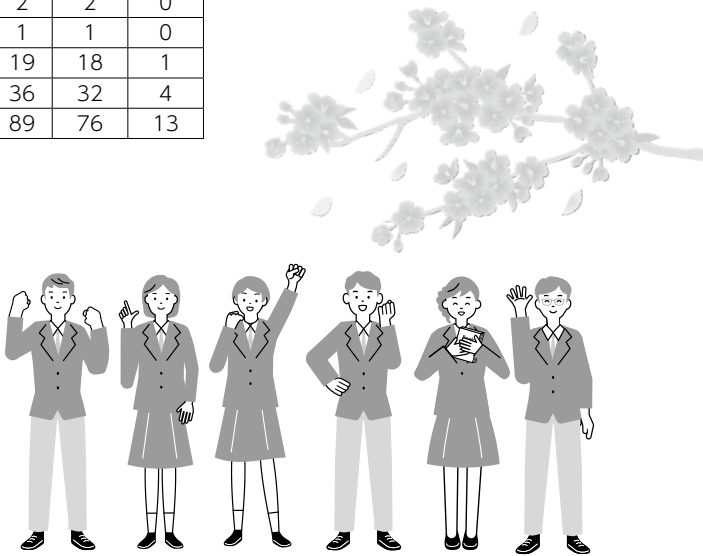
	合格者数 53期生 過年度
合計	16 2

大学校

大学名	合計	合格者数 53期生 過年度
防衛大学校	1	1 0
航空保安大学校	1	1 0
合計	2	2 0

公務員

大学名	合計	合格者数 53期生 過年度
自衛官候補生	1	1 0
裁判所職員	1	1 0
税務職員	1	1 0
合計	3	3 0



部活動

全国大会・近畿大会出場
主な成績

2021年度 (令和3年度)

陸上競技部

U18全国陸上競技大会 男子100m	出場
近畿高校駅伝	男子28位
近畿高等学校ユース	
陸上競技対抗選手権 男子5000m競歩	優勝

水泳

近畿総体	
男子200m背	8位
男子100m背	出場
男子400m個メドレー	出場
男子4×100mメドレーR	出場

近畿新人

男子100mバタフライ	出場
女子100m背	出場
男子4×100mフリーR	出場

弓道

近畿高等学校弓道大会	
男子団体：ベスト8 女子団体：ベスト8	

2022年度 (令和4年度)

陸上競技部

全国高等学校陸上競技対校選手権大会	
男子5000m競歩	出場
近畿高校陸上競技対校選手権	
男子5000m競歩	優勝
近畿高等学校ユース陸上競技対抗選手権	
5000m競歩	出場
近畿陸上競技選手権 5000m競歩	6位
国民体育大会 少年男子5000m競歩	9位
兵庫県高校駅伝大会	10位

男子バレーボール

近畿高等学校バレーボール選手権大会	出場
-------------------	----

男子ハンドボール

近畿高等学校ハンドボール選手権大会	出場
-------------------	----

女子ハンドボール

近畿高等学校ハンドボール選手権大会	出場
-------------------	----

弓道

近畿高等学校弓道選抜大会	出場
--------------	----

2023年度 (令和5年度)

ラグビー

近畿高校少人数制ラグビー大会	県代表1名
----------------	-------

陸上競技部

全国高等学校陸上競技対校選手権大会	
男子5000m競歩	優勝 (大会新)
近畿高校陸上競技対校選手権	
男子5000m競歩	優勝 (大会新)
近畿陸上競技選手権 男子5000m競歩	優勝
国民体育大会 少年男子5000m競歩	優勝

男子バレーボール

近畿高等学校バレーボール優勝大会	出場
------------------	----

現在の部活動一覧

運動部

硬式野球部 サッカー部 卓球部 剣道部
バスケットボール部 (男) バスケットボール部 (女)
陸上競技部 バレーボール部 (男)
バレーボール部 (女) ソフトテニス部 (男)
ソフトテニス部 (女) バドミントン部 (男)
バドミントン部 (女) 水泳部 ラグビー部
テニス部 (男) テニス部 (女)
ハンドボール部 (男) ハンドボール部 (女)
ダンス部 弓道部

文化部

茶道部 華道部 美術部 吹奏楽部 写真部

同好会

野外観察 軽音楽部 HMC部 文芸部
数理研究部 放送委員会 IEC部



2023年10月 同窓会とPTAで正門横に横断幕枠を設置しました

母校のために協力していただいた同窓生の皆様

「みどりの架け橋」 OB・OG講演会

みどりの架け橋講演会は、卒業生の方々から「社会人として大切なことや学生時代に経験しておくべきこと、緑高での思い出」など生徒たちのキャリア形成につながる貴重な講演をしていただいています。改めて、卒業生の皆様に感謝申し上げます。この講演会は生徒たちにとって緑高の生徒としての自覚や絆をつなぐ場としても、とても大切な時間ですので、今後も継続していきたいと考えています。講演会で講演していただける卒業生の方がいらっしゃいましたら、是非、ご協力をお願いいたします。（学校長）

2021年度（令和3年度）

7月8日 前川由美子氏（26期生）
（精神保健福祉士）

12月17日 松本 優子氏（24期生）
（コンサルタント会社勤務）

『高校生に取り組んでほしいこと、
社会で求められる能力、後輩へのおもひ』

2022年度（令和4年度）

5月24日 田丸 一男氏（8期生）

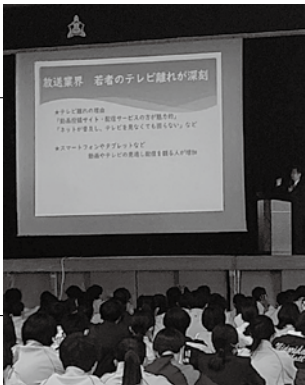
株式会社オフィスキーフード
（元毎日放送アナウンサー）

『知られざるアナウンサーの仕事
～マスコミの世界の魅力～』

12月12日 亀若 浩幸氏（15期生）

（亀若弁護士事務所）

『緑高の後輩のみなさんへ』



2023年度（令和5年度）

5月24日 小室 将雄氏（22期生）
（公認会計士）

『意外に知らない公認会計士の世界～企業や自治体の頼れるドクター～』

12月12日 浜本 隆三氏（27期生）
（甲南大学文学部英語英米文学科准教授）

『緑高から裸でサンフランシスコ市街を走るまで』

同期会報告



4期同期会（2023年8月19日）

2021年度（令和3年度）	1月10日	49期	宝塚ホテル
2022年度（令和4年度）	10月22日	10期	大阪第一ホテル
2023年度（令和5年度）	8月19日	4期	大阪新阪急ホテル
	10月28日	4期（2-3）	がんこ宝塚苑
	11月11日	2期	学校食堂
	11月15日	9期（3-1）	グランヴィア大阪 フルーフ

母校で教えています

川邊 聡美（10期）・佐伯 光紀（17期）・川原 晃（26期）・仲川 奈緒（26期）
山本 和也（28期）・細川 智子（29期）・末廣 卓也（32期）・夏山満智子（36期）・門田 雄介（37期）

お悔やみ

高垣定光先生との55年

高垣定光先生のご逝去に対しお悔やみ申し上げます。また、川西緑台高等学校同窓会「緑友会」設立に貢献され、退職後も長きに渡り緑友会の活動を見守っていただきましてありがとうございました。

昭和44年4月8日の第1期入学式後にクラス編成の発表があり、1年1組の担任として高垣先生に初めてお会いしてから、はや55年が経ちました。

先生はクラス担任であり、担当教科は地理でした。私は勉強が苦手でしたから勉強の内容はあまり記憶にありませんが、授業では「上田さん分かりましたか」と言う優しい語り口と、他にも入学時の成績が優秀で（と思います）先生の指名で委員長となったF君には何回も、「F君勉強してくれよ」とお願いの様に諭されていた優しい言葉が脳裏に焼き付いています。ある日、勉強もせずクラブ活動も辞めて帰宅組となった下校時の私を、「おーい」と先生が呼び止めました。緑に包まれた今とは程遠く、開校当初の校舎敷地は運動場は小石だらけで見渡す限り茶色。校門から校舎まで緑もなく殺風景だと先生は思われたのでしょうか、「木を植えるので手伝ってよ」と言われたのです。そんな事を先生がするのと思いながら、放課後に園芸部の人たち（と思います）と何日も植樹のお手伝いを続ける事になりました。先生が私を誘われたのは、私の生活態度を心配しての先生独特の指導だったのかと今になって思います。それを機に何かと先生との距離が近くなり、卒業後も創立10周年記念同窓会

1期生 上田 好伸

名簿作成時など、先生の依頼で編集のお手伝いをさせていただき、今も手元にその時の手書きの資料が、10周年記念誌と伴に想い出として残っています。その他にも、卒業後の1期生同窓会で『君たち1期生は勉強は？だが、生活力はあるね。』との誉め言葉なのかどうかは疑問ですが、社会人として成長したと言いたかったのだと勝手に理解して、いつまでも忘れられない一言として心に残っています。高垣先生は、昭和44年の開校から平成元年3月末の退職時まで教鞭を執ると共に、同窓会活動にご尽力いただき退職後も同窓会顧問として総会にもご出席いただきましたが、平成の終わり頃の総会後に「もう私の出番はないね、後はまかしたよ」との言葉を残して出席は途絶えましたが、その後も送付した総会資料には目を通してのよと、いつも達筆な毛筆でのお手紙をいただきました。しかし、令和5年11月にご家族から「父は多くの方々と出会って親しくしていただき、楽しく幸せな人生を過ごせたと思います」とのお手紙を戴きました。高垣先生には、これからも遠い空から兵庫県立川西緑台高等学校同窓会「緑友会」が、60周年、100周年と益々発展することを、見守って頂ける事だと思います。高垣先生ありがとうございました。



会報賛助金についてのお願い

同窓会報「緑の風」は、同窓会の報告と卒業生の活躍、母校の様子を知る唯一の絆として3年に1回発行されています。どんな記事でもご紹介したいと思いますので編集委員会へお寄せいただければ大変ありがたいです。

しかしながら、同窓会報発行には大きな経費もかかります。今後もより良い情報をお届けしたいと思いますので、出費多端な折、申し訳ございませんが、会報発行賛助金として協力くださいますと幸いです。

なお、コンビニからのお振込みも可能となっております。どうぞご利用ください。複数口ご協力くださいます方は、振込用紙に金額を訂正の上郵便局よりお振込みください。

ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

「賛助金ありがとうございました」

前回会報にて募集した賛助金について以下のとおり応募いただきました。

皆さまからのご厚意に沿うべく、同窓会の発展や在校生の支援に活用させていただきます。

2021年度（令和3年度）	696,891円
2022年度（令和4年度）	73,564円
計	770,455円

寄附金募集中

皆様の寄附により、学校を支援いただく取り組みです。応援よろしくお願いいたします。

下記のテーマで募集しております。

募集テーマ 部活動の地域貢献活動や全国大会出場等のサポート

内容 部活動を中心とした、地域に貢献するための活動支援や全国大会等の出場をサポートするための備品購入や出場に要する経費の支援

詳しくは学校のHP
(<https://dmzcms.hyogo-c.ed.jp/midoridai-hs/NC3/>)

「学校環境充実応援プロジェクト

ふるさと納税寄附金募集中」をご覧ください。



クラス会・同期会開催補助金制度 (緑友会後援事業)があります

クラス会・同期会開催時、同級生・同期生全員（住所不明者を除く）及び恩師を対象に送付する開催案内状郵送費の一部を補助する制度です。

開催される際は事務局までご連絡ください。

クラス会 ￥5,000（3年に1回）
同期会 ￥30,000（3年に1回）



住所変更の通知のお願い

会員の皆様の身上（住所変更など）に異動が生じられた場合は、異動通知を出していただきますようお願いいたします。

事務局までご連絡ください。

または、緑友会が委託しておりますデータ管理会社**小野高速印刷(株)**までご一報ください。

ご提供いただいた情報は機密扱いされ、緑友会の運営に役立てる目的のみに使用させていただきます。

表紙でご案内しております

緑友会公式ホームページ

Bikita 同窓会コミュニティサイト 会員登録 から異動通知が可能です。

是非ご利用ください。

※メール、FAXでご連絡の際は、必ず学校名をご記入の上、送信をお願いいたします。



連絡先 **小野高速印刷(株)**

TEL 0120-66-7754 FAX 0120-81-2299

E-mail : meibo@dousou.info

編集 Editor's note 後記

コロナ禍も収まりつつあり、同窓会も再開されつつあります。

卒業後の連絡はSNSが中心となり、どこにいてもお互い「つながってる感」が持てる時代となりました。そんな時代でも同窓会で「顔をあわせて話をする」ことは何ものにも代えがたい機会だと思います。会報は3年毎の発行ですが、手に取ってご覧いただき、同窓生はもとより在校生の「今」に思いを寄せてください。

編集委員

高瀬 伸介（17期）・今村加寿成（7期）・恒成 一郎（9期）
池田 千晶（10期）・川邊 聡美（10期）・横山 明人（12期）
村本 純江（18期）・川村 朋子（19期）・小川美和子（21期）
恵美 晴（53期）